
閉会挨拶

稲葉 カヨ（京都大学 広報担当理事）



皆様、本日は最後までおつきあいいただきまして本当にありがとうございました。最後に私から一言ご挨拶を申し上げます。

本日は「21世紀の日本を考える」と題して、この広島で、私ども、京都大学の附置研究所・センター群のシンポジウムを開催することができました。

地元広島大学の浅原学長から歓迎の言葉をいただき、大場先生には講師を務めていただきました。また会場には、次世代を担う若い高校生の皆さん、それから中学・高等学校の教員の方々、広島県下で活躍されている本学卒業生で構成される同窓会・広島京大会の会員の方々から多くご参加いただきました。

本日、講師の先生方が提供されました研究の成果は、私ども京都大学のごく一部の成果でしかありません。京都大学のホームページでは、それぞれの研究者が出している研究成果を紹介・発信しております。

出来ましたら皆様も、京都大学の成果をこれからもフォローしていただき、今後、21世紀を考える上で、何らかの皆様のお役に立てることができればいいなというふうに思っております。

本日のシンポジウムにつきましては、広島大学、それから広島県の教育委員会、読売新聞社のご支援をいただきました。心からお礼申し上げます。

次回は、東京で第11回を開催することになっております。非常に遠いところですので、また東京でお目にかかりたいと思いますとは言えませんが、その間も、先ほども申し上げましたように、京都大学のホームページにアクセスしていただき、京都大学の活動を見、知り、併せてご支援いただけましたら、と思っております。何とぞよろしく願いいたします。

最後にシンポジウムにご参加いただきました皆様方全てに厚くお礼申し上げまして閉会の挨拶とさせていただきます。本日は本当にありがとうございました。

